

業務用吸水掃除機の導入及び業務改善コンサルティングの活用による生産性の向上

事例1

企業概要

【所在地】三重県 【従業員数】26人 【事業内容】建築物清掃業
 【課題と対応】手作業で床の洗浄をしていたため、作業時間が長かった。また、事務的にも作業ミスや連絡ミスがあったため、設備投資とコンサルティングによる業務効率化を検討してきた。

清掃業務を機械化し、ITを活用して事務作業も効率化したいと考えました。そこで、助成金を活用して業務用吸水掃除機の導入及び業務改善コンサルティングを活用しました。

清掃業務の負担を軽減し、日程調整や書類作成も効率化したい



さらなる工夫
 受発注は電話のみで行うことが大半だったが、メールとアプリを活用し、スケジュール表で可視化できるようにした。

床洗浄の作業が3人から1人になり、事務作業の効率化で取引先と円滑なコミュニケーションが可能

実施内容

業務用吸水掃除機を導入することで、床洗浄作業の人員と作業時間が3分の1になった。また、業務改善コンサルティングによって、ITの活用により日程調整や書類作成、取引先とのコミュニケーションが効率化した。

成果

清掃業務と事務作業の効率化により生産性が向上し、22人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を30円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。

助成金活用のきっかけ

インターネットで、活用可能な助成金を検索

事例2

テーブルオーダーシステムの導入による注文業務の効率化と会計の見える化

企業概要

【所在地】福岡県 【従業員数】9人 【事業内容】飲食業
 【課題と対応】オーダーの聞き間違い等を解消し、従業員の負担軽減を図るため、設備投資による作業効率化を検討してきた。

注文に要する時間を削減し、テーブルごとの料金管理を図りたいと考えました。そこで、助成金を活用してセルフで注文できるテーブルオーダーシステムを導入しました。

ホールスタッフの注文を取りに行く作業を減らして、回転率を向上させたい

導入前



導入後



代表者

さらなる工夫

揚げ物の揚げ時間を短縮できる機器や、飲み放題用のセルフ式設備の導入により、従業員のさらなる業務負担軽減を進めた。

1か月当たりの注文受け時間が約12時間短縮

実施内容

テーブルまで行き注文を取っていたが、テーブルオーダーシステムの導入で顧客が自ら注文を入力できるようになり、オーダーと会計が正確になったことで従業員の負担軽減が図られた。

成果

注文業務の効率化により生産性が向上し、3人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を90円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げも実施した。

助成金活用の
きっかけ

インターネットで、飲食業で活用可能な助成金を検索

事例3

スチームコンベクションオープン[※]の導入による生産量の増と調理工程の簡素化

企業概要

【所在地】宮城県 【従業員数】6人 【事業内容】仕出業
 【課題と対応】調理人の熟練度や人数によって調理の質や量にばらつきが出るため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

熟練者以外でも少人数で大量の調理を可能にしたいと考えました。また、焼く・蒸す等の調理工程を簡素化したいと考えました。そこで、助成金を活用してスチームコンベクションオープンを導入しました。

(※) 温風と水蒸気を用いて調理を行う加熱調理器具

今までのガス調理の負担を減らし、効率よく量産したい

導入前



導入後



代表者

さらなる工夫

メニューのバリエーションが増えたことで、新しく弁当や総菜などにも力を入れられるようになった。

若手従業員でも倍以上の量をミスなく調理可能

実施内容

スチームコンベクションオープンの導入により、火加減の調整が省け、調理ミスによるロス率も減少した。調理人の熟練度や人数に左右されることなく調理でき、空いた時間で他の作業もできるようになった。

成果

生産量の増と調理工程の簡素化より生産性が向上し、6人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を50円引き上げた。

助成金活用の
きっかけ

商工会のセミナーに参加

種まき機と農薬散布機の導入による農作業の効率化と収穫量の増加

事例4

企業概要

【所在地】千葉県

【従業員数】5人

【事業内容】農業

【課題と対応】手作業では、種まきに数日かかり、農薬や肥料の散布にばらつきが出るため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

一度に大量の種まきや、農薬・肥料の散布を均一に行いたいと考えました。そこで、助成金を活用して種まき機及び農薬散布機を導入しました。

農作業の効率を上げ、発芽率や収穫物の品質を向上させたい



代表者

導入前



導入後



さらなる工夫

収穫量アップと品質向上によるブランド化・差別化を図る。

作業時間の7割削減

実施内容

種まき機及び農薬散布機の導入により、一度に多くの種まきができ、短時間で農薬や肥料を均一に散布できるようになった。作付面積が1.5倍になり、空いた時間で他の農作物の管理や収穫に力を注ぐことができるようになった。

成果

作業の効率化と収穫量アップにより生産性が向上し、5人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を30円引き上げた。

助成金活用のきっかけ

社会保険労務士に相談

Web会議システムの導入による営業活動の効率化や製造業務の時間確保

事例5

企業概要

【所在地】長野県 【従業員数】17人

【事業内容】電気機械器具製造業

【課題と対応】取引先との商談等は訪問やメールで1日の大半を費やしていたため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

訪問の移動時間と、打ち合わせ内容を社内共有する時間を削減し、製造業務に携わる時間を増やしたいと考えました。そこで、**助成金を活用してWeb会議システムを導入しました。**

営業活動と社内共有を効率的に行い、製造に携わる時間を増やしたい



社長

さらなる工夫

社長の営業時間を減らせた分は、製造作業の他、従業員との面談にも充てたことにより、生産性向上のアイデアを得たり意思疎通がより円滑になった。

導入前



導入後



1か月当たり、取引先への移動に400分、社内での情報共有に240分の時間短縮

実施内容

Web 会議システムの導入により、訪問やメールの労力が削減でき、自社の製造担当者が取引先の要望を直接聞けるようになり、不良品率も低下した。また、製造に携われる人員が増加し、売上げは1.5倍となった。

成果

移動時間と打ち合わせ時間の削減により生産性が向上し、8人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を30円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げも実施した。

助成金活用のきっかけ

出入りの業者から導入機器の情報提供があり、社会保険労務士に相談

事例6 タクシー配車システム連動カーナビの導入による配車業務の効率化

企業概要

【所在地】青森県 【従業員数】29人

【事業内容】一般乗用旅客自動車運送業

【課題と対応】迎車のために配車担当者が顧客からの指定場所を無線で乗務員に伝える際、無線が途切れて時間もかかり不正確なこともあったため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

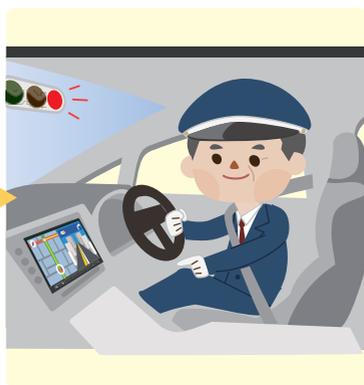
乗務員には、無線機からの音声だけでなく、カーナビ画面で正しく乗車場所を伝えたいと考えました。そこで、助成金を活用してタクシー配車システム連動カーナビを導入しました。

乗務員に、視覚的にも場所を伝えて効率的な配車をしたい

導入前



導入後



社長

さらなる工夫

小型のハイブリッド車や電気自動車を導入して、燃料費などのコスト低減を図っている。

正確な配車指示で移動時間短縮、乗務員の負担も軽減

実施内容

機器の導入により、配車室で受けた注文をタクシーのカーナビへ瞬時に伝達できるようになった。その結果、効率よく移動時間を短縮でき、新人乗務員も業務を早く習得できるようになった。

成果

配車業務の効率化により生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を30円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げも実施した。

助成金活用の
きっかけ

県の中小企業団体中央会からの紹介

事例7 卓上加熱攪拌機の導入による製造工程の効率化と新商品の開発

企業概要

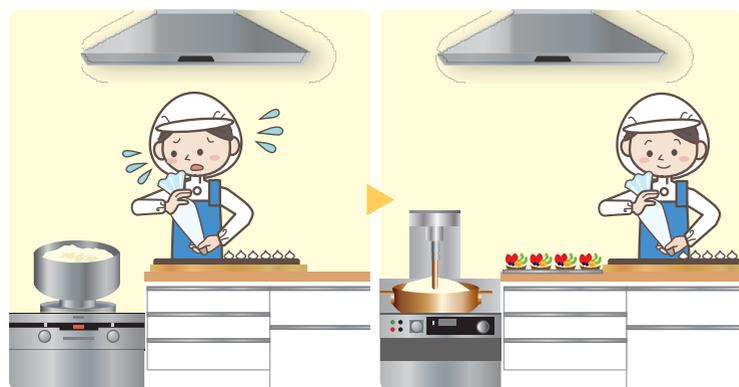
【所在地】栃木県 【従業員数】30人 【事業内容】洋菓子製造販売業
 【課題と対応】鍋の下部分しか混ぜられない攪拌機では少量しか製造できず、作業を中断して鍋の中身を確認しながら混ぜる必要があったため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

全体を攪拌することにより生産量を増やして都度の確認作業を省き、他の作業にも集中したいと考えました。そこで、助成金を活用して卓上加熱攪拌機を導入しました。

生産量を増やして新商品も開発したい

導入前

導入後



攪拌作業の確認が省力化、
1回に作れる量も約1.5倍に増加



代表者

さらなる工夫

作業工程の機械化や厨房内作業の時短を推進し、評価制度の導入を検討した。

実施内容

卓上加熱攪拌機の導入により、他の作業中断も減少し、主力商品を大量生産できるようになった。また、ロスや廃棄率が1～3%減少し、新商品開発の時間を設けることができた。

成果

洋菓子作り作業工程の効率化により生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を49円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の上げも実施した。

助成金活用の
きっかけ

税理士からの紹介

事例8 最新式鍵製造機の導入による合鍵製造の効率化と品質向上

企業概要

【所在地】滋賀県 【従業員数】9人 【事業内容】金物小売業
 【課題と対応】合鍵の製造において、旧式の機械では熟練者でないとうまく操作できず、時間がかかり精度も低かったため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

新人従業員でも、短時間で正確な合鍵の製造を可能にしたいと考えました。そこで、助成金を活用して最新式鍵製造機を導入しました。

合鍵製造を新人でも早く正確に行いたい

導入前



導入後



合鍵作成にかかる時間が70%短縮



社長

さらなる工夫

熟練者が営業や来店客の対応をできるようになった。また、WEB ページ更新にも人員を配置できるようになった。

実施内容

最新式鍵製造機を導入することで、新人従業員でも短時間で正確な合鍵製造が可能となった。不良品がなくなり、製造できる合鍵の種類も増えた。

成果

合鍵製造の効率化により生産性が向上し、2人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を50円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げも実施した。

助成金活用の
きっかけ

商工会のセミナーに参加

事例9

介護記録システムの導入による顧客の情報管理の効率化とサービスの品質向上

企業概要

【所在地】香川県 【従業員数】32人 【事業内容】介護事業
 【課題と対応】特定の職員が介護現場で手書きによる業務記録を担当していたため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

各々の職員が現場で簡単に記録し、正確に効率よく情報共有できると良いと考えました。そこで、助成金を活用して介護記録システムを導入しました。

介護記録の負担を軽減し、情報共有を効率化したい

導入前



導入後



1日当たりの記録時間が1時間短縮



代表者

さらなる工夫

定期的に役員と介護従事者が会議を行い、現場からの声が経営者へ届きやすい風通しのよい職場環境を整えるようにしている。

実施内容

介護記録システムを導入したことで、1人に集中していた記録業務が分散され、情報共有や引継ぎが円滑になり、サービスの質も向上した。

成果

顧客の情報管理の効率化により生産性が向上し、3人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を30円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。

助成金活用のきっかけ

厚生労働省のホームページ

全自動シャンプー機の導入による洗髪業務の効率化と従業員の 事例10 負担軽減

企業概要

【所在地】福島県 【従業員数】9人 【事業内容】美容業
 【課題と対応】顧客のシャンプーに時間がかかり、従業員の負担もあったため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

洗髪業務を効率化し、時間短縮をしたいと考えました。そこで、助成金を活用して洗い上がりも高評価な全自動シャンプー機を導入しました。

シャンプーを効率よく行い、従業員の負担を軽減したい

導入前



導入後



1か月当たりの洗髪時間が10.5時間短縮



社長

さらなる工夫

システム導入による労務管理の効率化や、待機時間を短縮できる薬剤の導入により、従業員の負担を軽減している。

実施内容

全自動シャンプー機を導入したことで、効率よく洗髪業務ができ、作業時間が短縮した。また、手荒れや腰痛の軽減、回転率の向上が図られ、売上や来店数の増加にもつながった。

成果

洗髪業務の効率化により生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を60円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引き上げも実施した。

助成金活用の きっかけ

商工会に問い合わせ

その他の業種別活用事例

事業内容	取組概要
通所介護施設	福祉車両の導入により、市内を巡回しやすくなり、稼働回数が増えて送迎効率が20%向上した。
婦人・子供服製造	高性能な工業用ミシンの導入により、厚地仕様の製品でも縫製速度を落とすことなく作業が可能となり、従来と同じ時間で10～15%多く製造可能になった。
陶磁器販売	POSレジの導入により、販売と在庫の管理が同時にできるようになり、棚卸の作業時間も削減できて、毎日のチェック業務が1か月に1回で済むようになった。
障害者福祉施設	クラウド勤怠管理システムの導入により、複数施設の出退勤状況をリアルタイムで把握・集計可能になり、労務管理にかかる時間が1か月に8時間短縮した。
衣類縫製	受注システムの導入により、自社サイトで商品を販売できるようになり、受注作業にかかる時間が60%削減し、電話での聞き違いや製造・発送ミスもなくなった。
電気機械器具製造	工場内のレイアウト変更により、作業スペースが広がり、今までは受注できなかった大きな部品の加工が行えるようになった。
海産物卸売・小売	最新式フライヤーの導入により、二度揚げと油切りが自動でできるようになり、1日当たりで100分程度の作業時間の短縮につながった。
食料品製造・販売	電動フォークリフトの導入により、重量物を短時間で運搬できるようになり、1日当たりの作業時間が30分～1時間短縮し、作業負担も軽減した。
保育園	人材育成教育訓練及び経営コンサルティングの実施により、業務マニュアル作成の整備や、保育スキルの向上、事務作業の効率化が図られた。
歯科診療所	新型治療用チェアユニットの導入により、治療機材の設置、処置、清掃等にかかる作業時間が短縮した。
スーパーマーケット	自動釣銭機の導入により、会計ミスの解消、精算時間の短縮、レジ待ち行列の縮小、クレームの減少につながり、業務効率化が図られた。
製麺所	冷凍車の導入により、保冷材の梱包作業が不要になり、食品を冷蔵庫から冷凍車へ直接積み込むことができ、搬出作業時間が短縮した。
クリーニング	半自動包装機の導入により、衣類を包装する効率が30%向上し、仕上がりの量が1時間当たり従前の3倍に増加した。
ホテル	食器洗浄機の導入により、1回当たりの洗浄時間が3分の1に短縮した。また、衣類乾燥機や高圧洗浄機の導入により業務効率化が図られた。

業務改善助成金のより詳細な活用事例については、厚生労働省のHPに掲載されています。

